

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大	事業	001	文化振興事業	中	事業	01	文化振興事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	文化芸術基本法			
根拠例規	有	坂井市全国文化芸術大会出場激励金支給要綱ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	3,833	5,445	1,311	△ 1,612
	人件費	4,412	4,344	6,847	68
	総事業費	8,245	9,789	8,158	△ 1,544
人 員	正職員	0.66 人	0.62 人	1.02 人	0.04 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.66 人	0.62 人	1.02 人	0.04 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	53	60	△ 53
	一般財源	8,245	9,736	8,098	△ 1,491

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
文化芸術分野の全国大会以上に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し、本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。		
【事業の概要】		
○報償費		459千円
	全国大会等出場激励金	455千円
	協力者謝礼（視察研修）	4千円
○需用費		184千円
	消耗品費（事務用品）	2千円
	食糧費（会議用お茶）	4千円
	修繕料（青空ギャラリー作品看板修繕）	178千円
○使用料及び賃借料		144千円
	車両借上料・有料道路通行料 （文化未来会議視察研修：京都市内）	
○備品購入費	展示用備品購入費（文化祭展示用パネル）	3,046千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	全国大会出場者数	人	目標	50	40	40	30	30
			実績		71	50	36	30
			達成率(%)	0.0	177.5	125.0	120.0	100.0
指標の説明		年度内に申請のあった全国大会等出場者数						
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		年々、個人での全国出場者は増加傾向にあり、国際大会出場者も出ているため、今後も継続した周知に努めていきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	文化未来会議では様々な分野の代表者より、市の文化振興に対する活発な意見をいただいております。引き続き中長期的な視点で取り組んでいきます。激励金支給においては、各種大会も多様化し、支給に該当するかどうか判断し難い場合もあり、支給要綱および内規等の見直しも考えていく必要があると考えています。		
これまでの見直しや改善等の実績	文化未来会議での意見をもとに、指定管理者への助言も行いながら振興策に取り組んでいます。激励金の支給に対しては、国内のみならず国際規模の大会に出場するケースも増えており、一部要綱を見直し、国際規模大会も対象としました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	文化振興事業	継続	文化芸術の全国大会等出場に対する激励を行い、活躍を応援し、市民の文化意識の向上を図っていく。未来会議を通して、文化に対する市民の意見を求め、市の文化振興につながるよう取り組んでいきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	改善（見直し）	方向性の理由	激励金の支給について、要綱等の見直しを図ります（スポーツ部門の激励金支給との整合性を含む）
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業			中事業	06	文化団体補助事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-1	シティーセールスの強化			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）		
根拠法令	有	文化芸術基本法				
根拠例規	有	教育委員会文化課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、（公財）丸岡文化財団及び（公財）坂井市文化振興事業団、各種文化団体で組織する坂井市文化協会が実施する文化活動事業を支援する。

【事業の概要】

○補助金	116,201千円
丸岡文化財団運営補助金	48,875千円
坂井市文化協会事業補助金	3,200千円
坂井市文化振興事業団運営補助金	64,126千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ■一筆啓上PRの拡充（中高生に、地域の魅力を再発見し、地域活性化の担い手となってもらうことを目的に実施する） ■一筆啓上PRツアー ■一筆啓上賞
----------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	116,201	44,788	29,863	71,413
	人件費	1,939	2,102	3,021	△ 163
	総事業費	118,140	46,890	32,884	71,250
人員	正職員	0.29 人	0.30 人	0.45 人	△ 0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.29 人	0.30 人	0.45 人	△ 0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	78	0
	一般財源	118,140	46,890	32,806	71,250

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	文化協会会員数	人	目標	2,300	2,400	2,600	2,800	3,000
			実績		2,308	2,339	2,588	2,609
			達成率(%)	0.0	96.2	90.0	92.4	87.0
独自指標	指標の説明 加入団体活動による坂井市文化協会の会員数							
指標	文化協会活動事業数	件	目標	80	100	100	100	130
			実績		76	86	81	88
			達成率(%)	0.0	76.0	86.0	81.0	67.7
独自指標	指標の説明 坂井市文化協会が行う主催・共催・後援事業等の件数							
指標	一筆啓上賞応募総数	通	目標					
			実績		39,468	38,182	44,348	27,657
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明 丸岡文化財団が行う主催事業への参加数							
指標	文化振興事業団活動事業数	件	目標	40	40	40		
			実績		39	46		
			達成率(%)	0.0	97.5	115.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明 坂井市文化振興事業団が行う主催・共催・自主事業等の件数							
指標に基づく評価	文化協会は会員数が年々減少するなか、大人から子どもまで幅広く文化活動に参加できる企画運営を担い、市の文化振興に大いに貢献しています。一筆啓上賞は全国的にも定着しており、さらなる応募者数の増に取り組んでいきます。文化振興事業団は施設のリニューアルとともにニーズに即した事業に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	高齡化に伴う文化協会の会員数が減少するなか、団体の自助努力による市の文化振興に対する貢献度は大きいものと思われます。丸岡文化財団および坂井市文化振興事業団は、市の指定管理施設として地域文化の育成・継承のため連携していくことが重要です。引き続き、一筆啓上賞事業や舞台芸術公演の企画運営を始め、地域団体の活動発表の場の提供など取り組んでいきます。		
	各団体ともに、助成事業や協賛金等、自助努力による収入策に取り組んでいます。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	文化団体補助事業	継続	丸岡文化財団および坂井市文化振興事業団は、市の文化振興の発展に関わる指定管理者として事業を行うにあたり、そのための人件費補助に対して、市は適正な補助金支給に努めていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性		継続
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進
	施策項目	(1) 青少年へのふるさと意識の醸成				
実施事業名 (小事業)	文化団体補助事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 一筆啓上賞事業は、市を代表する事業として定着し、地域文化の継承を目指した事業です。その企画運営を担う（公財）丸岡文化財団においては、団体の核となる事業であり、市の支援は今後も必要であると思われるため、テーマによる応募数に多少の増減はありますが、より多くの応募者数の増や地域の魅力発信に向けて、財団が行うPRに市も連携して事業を進めていくことは必要であるとともに、適正な運用に対する見直しや指導も課題であると思われます。 文化協会の活動は、高齡化ながらも貢献度は大きく、市と団体との連携により信頼感を保ちながら進めていくことが大事であると思います。 					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大	事業	001	文化振興事業	中	事業	11	文化活動支援事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	文化芸術基本法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。

【事業の概要】

○委託料	18,348千円
文化祭業務委託料（坂井市民文化祭実行委員会）	4,148千円
公演業務委託料（坂井市文化振興事業団：21事業）	13,000千円
市民文化創造企画支援事業委託料（坂井市文化振興事業団）	1,200千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	18,348	39,797	39,199	△ 21,449
	人件費	2,674	2,523	3,759	151
	総事業費	21,022	42,320	42,958	△ 21,298
人員	正職員	0.40 人	0.36 人	0.56 人	0.04 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.40 人	0.36 人	0.56 人	0.04 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	392	0
	一般財源	21,022	42,320	42,566	△ 21,298

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	文化祭来場者数	人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績		10,014	10,257	12,098	12,473
			達成率(%)	0.0	100.1	102.6	121.0	124.7
指標の説明								
指標	公演事業入場率	%	目標					
			実績		81	81	67	78
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		入場者数/設定席数（企画によって設定席数が異なり実績値のみ）						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	各団体の周知・広報活動により、一定の目標はほぼ達成できていますが、今後も自助努力による継続した活動は必要であると思います。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題	
	文化祭は実行委員会に委託し、市内4会場いずれも盛況でした。今後も、市民の文化活動の活性化が図られるよう、参加者・団体からの意向をもとに市民のニーズに答えしていくことは必要であると思います。公演事業は、様々なジャンルのアーティストによる公演を始め、市民参加・育成型事業にも取り組んでいます。ジャンルによっては集客率に差が生じており、来場者アンケートによる市民ニーズの把握や採算性を踏まえた受益者負担の設定が課題であると考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	文化活動支援事業	継続	文化祭は、各種文化団体が所属する文化協会が核となり、委託事業として取り組んでいきます。公演事業は、文化ホールを管理運営する文化振興事業団に委託し、市民ニーズに即した企画運営を図ります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業			中事業	21	一筆啓上手紙の館管理運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■一筆啓上PRの拡充 (中高生に、地域の魅力を再発見し、地域活性化の担い手となってもらうことを目的に実施する)</p>
----------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-1	シティーセールスの強化			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	指定管理事業		
根拠法令	有	文化芸術基本法				
根拠例規	有	坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館条例、同条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
「手紙の館」の管理運営を担う(公財)丸岡文化財団は、一筆啓上賞の作品を始めとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光の充実を図る。		
【事業の概要】		
○報償費	運営審議会委員謝礼(3名)	40千円
○役務費	手紙の館火災保険料	108千円
○委託料	事業運営委託料(丸岡文化財団)	14,000千円

3.事業のコスト (単位:千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	14,148	13,596	21,710	552
	人件費	2,741	2,943	2,819	△202
	総事業費	16,889	16,539	24,529	350
人員	正職員	0.41 人	0.42 人	0.42 人	△0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.41 人	0.42 人	0.42 人	△0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	1,282	0
	一般財源	16,889	16,539	23,247	350

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	KPI	人	目標	50,000	50,000	15,000	15,000	20,000
			実績		46,409	47,027	21,394	12,433
			達成率(%)	0.0	92.8	313.5	142.6	62.2
指標の説明		PR活動等による入館者数						
指標		件	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		丸岡文化財団が行う企画・展示事業等の件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	丸岡城との共通入場券により、入館者増に向けた取り組みを図っていますが、企画展や毎月の「ふみの日企画」に趣向を凝らすなど必要もあると思われます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	丸岡城との共通入場券導入により、入館者数は増加したが横ばい傾向にあることから、引き続き丸岡城と一体化した観光客誘客に努めていく必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	運営審議会での意見も踏まえながら、誘導案内板の設置や丸岡城への観光バス駐車場の移設（当館裏）、丸岡城との共通入場券導入等に取り組みました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	一筆啓上手紙の館管理運営事業	継続	一筆啓上賞を市内外に発信する施設として、手紙にまつわる様々な企画に取り組み、丸岡城と一体化した来館者の取り込みを図るとともに、市のPRにつなげていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-4	観光の振興
	施策項目	(4) 歴史文化を味わうまちなか観光の推進				
実施事業名 (小事業)	一筆啓上手紙の館管理運営事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 一筆啓上賞事業は、市を代表する事業として定着し、地域文化の継承を目指した事業です。その拠点となる「手紙の館」は、丸岡城との共通入場券を導入するなど、入館者増に向けた取り組みを行ってききましたが、例月の「ふみの日」企画の内容やPRの方法なども、今一度、工夫していく必要があると思われます。 入館者数の増に向けて、まずは当館独自のPRは不可欠ですが、引き続き、市も連携してPRしていくことは必要です。 丸岡城との共通入場券導入以降、手紙の館自体の入館者数は増加しましたが、横ばい状態に落ち着いており、丸岡城周辺施設を始め、まちなか観光と一体化した観光客誘客に対する仕掛けが課題であると思われます。 					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			中事業	02	文化の森・みくに市民センター管理運営事業		
小事業	01	文化の森・みくに市民センター管理運営事業			02	省エネ対策事業		他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業		
根拠法令	有	地方自治法				
根拠例規	有	坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例、みくに市民センター条例ほか				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動の振興と文化的資質の向上を図る。

【事業の概要】

◆文化の森・みくに市民センター管理運営事業 本庁 89,797千円

- 役務費 162千円
 - ハートピア春江・みくに市民センター火災保険料
- 委託料 84,212千円
 - 文化の森・YURI文化情報交流館吊天井耐震改修実施設計 16,794千円
 - 文化の森・YURI文化情報交流館吊天井耐震改修設計監理 907千円
 - 指定管理者委託料（坂井市文化振興事業団） 66,511千円
- 使用料及び賃借料 文化の森敷地借上料（18,875㎡） 3,820千円
- 工事請負費 853千円
 - 看板設置工事費 756千円
 - 施設用器具設置工事費 97千円
- 負担金 750千円
 - 指定管理者修繕料負担金（ハートピア春江空調設備修繕）

◆省エネ対策事業 本庁 122千円

- 使用料及び賃借料 デマンド監視システム使用料 122千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	89,919	116,018	120,973	△ 26,099
	人件費	4,011	4,274	6,042	△ 263
	総事業費	93,930	120,292	127,015	△ 26,362
人員	正職員	0.60 人	0.61 人	0.90 人	△ 0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.60 人	0.61 人	0.90 人	△ 0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	16,800	791	0	16,009
	一般財源	77,130	119,501	127,015	△ 42,371

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	人	目標	108,000	108,000	110,300	110,000	113,100
			実績		93,148	108,810	113,573	111,126
			達成率(%)	0.0	86.2	98.6	103.2	98.3
指標の説明								
指標	独自指標	人	目標	18,000	18,000	7,000		
			実績		21,060	12,805		
			達成率(%)	0.0	117.0	182.9	0.0	0.0
指標の説明								
指標	独自指標	人	目標			7,750	15,000	41,000
			実績			18,844	146,597	67,435
			達成率(%)	0.0	0.0	243.1	977.3	164.5
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	ハートピア春江は、悪天候による屋外行事の中止により、利用者数は前年度を下回りましたが、みくに市民センターは、新ホール開館以降、利用者が増え、目標値を上回りました。今後も市民に優れた文化芸術を鑑賞する機会の提供や市民の文化の裾野が広がる事業の展開を求めています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	両館とも限られた人員数のなかで施設運営を行っており、急な施設の故障等が発生した際には対応等に苦慮している現状です。また、市民育成型事業や参加型事業など採算のとれない事業を進めていくため、現状の指定管理者のような半官半民の形態を持つ事業者による事業委託することが望ましいですが、適正な管理運営に対する市としての指導は課題であると考えます。		
	受益者負担適正化への見直しについては、坂井市みくに市民センターの建設に伴い、他市の文化施設の状況も鑑みて実施しました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	文化の森・みくに市民センター管理運営事業	継続	令和2年度にハートピア春江の吊天井耐震改修を主としたリニューアル工事を行い、老朽化した設備も含めて改善を図ります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	令和2年度にハートピア春江の吊天井耐震改修を主としたリニューアル工事を行い、老朽化した設備も含めて改善を図ります。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	001	文化財保護審議会運営事業			中事業	02	文化財保護審議会運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	文化財保護法				
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、坂井市文化財保護審議会規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	187	189	187	△ 2
	人件費	3,008	3,924	3,759	△ 916
	総事業費	3,195	4,113	3,946	△ 918
人員	正職員	0.45 人	0.56 人	0.56 人	△ 0.11 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.56 人	0.56 人	△ 0.11 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,195	4,113	3,946	△ 918

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 新たな文化財の指定や解除に関する諮問や、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。		
【事業の概要】		
○報酬	文化財保護審議会委員報酬（8名）	184千円
○旅費	文化財保護審議会委員費用弁償	1千円
○需用費	食糧費（文化財保護審議会お茶代）	2千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	会議開催数	回	目標	3	3	3	2	2
			実績			2	3	3
			達成率(%)	0.0	66.7	100.0	100.0	150.0
指標の説明								
指標	処理議案数	件	目標	4	4	4	4	2
			実績		11	6	6	2
			達成率(%)	0.0	275.0	150.0	150.0	100.0
指標の説明								
指標	会議1回当り議案処理件数	件	目標	2	2	2	2	2
			実績		6	2	3	1
			達成率(%)	0.0	300.0	100.0	150.0	50.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		文化財指定の案件が増えているため、会議の開催は今後も継続していきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	文化財保護に関する審議は非営利的な面も多くあり、民間ではなく行政が行うのが妥当であると考えます。効率化については、審議内容をさらに精査することで、より充実した審議会となり、また、専門性の高い会議のため、他との統合等は難しいと思われませんが、類似、関連事業への情報提供等により成果を向上させる可能性はあると考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績	指定・登録文化財について候補の審議を継続して実施した他、年間計画等についても助言を求めました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	文化財保護審議会運営事業	継続	指定・未指定に関わらず、文化財の保存維持・管理のための助言・指導を求めています。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業			中事業	01	文化財保存管理事業		
小事業	01	文化財保存管理事業			02	日本遺産推進事業		他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-1	シティーセールスの強化			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	文化財保護法				
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、教育委員会文化課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

【事業の概要】

◆文化財保存管理事業 本庁 6,742千円

- 報償費（有識者謝礼・文化財管理奨励金） 533千円
- 旅費（特別旅費） 289千円
- 需用費（消耗品費・印刷製本費外） 360千円
- 役務費（カモシカ処理手数料・火災保険料） 34千円
- 委託料 3,546千円
 - 文化財管理委託料（古墳公園等清掃、草刈等） 3,060千円
 - 燻蒸委託料（丸岡歴史民俗資料館） 486千円
- 使用料及び賃借料（土地借上料・パソコンリース料外） 243千円
- 工事請負費 文化財看板設置工事（新保春日神社外2件） 373千円
- 負担金 全国史跡整備市町村協議会負担金外2件 65千円
- 補助金 1,299千円
 - 市指定無形文化財保存活動事業費補助金 676千円
 - 指定文化財保存事業費補助金 623千円

◆日本遺産推進事業 867千円

- 旅費（特別旅費） 12千円
- 需用費（消耗品費・印刷製本費） 175千円
- 委託料 日本遺産認定周知横断幕制作設置業務委託 180千円
- 負担金 北前船日本遺産推進協議会負担金 500千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■無形民俗文化財等広域PR （先人から代々継承されてきた古き良き芸能を広域的にPRし坂井市へ誘導する。地域の良さの再認識と情報発信により多くの人々が訪れる賑わいのある地域を目指す）</p>
----------	---

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	7,609	6,755	4,252	854
	人件費	8,757	10,581	8,458	△ 1,823
	総事業費	16,366	17,336	12,710	△ 969
人員	正職員	1.31 人	1.51 人	1.26 人	△ 0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.31 人	1.51 人	1.26 人	△ 0.20 人
財源内訳	国県支出金	117	117	117	0
	その他特定財源	9	17	548	△ 8
	一般財源	16,240	17,202	12,045	△ 961

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
独自指標	文化財補助金支出件数	件	目標	11	11	11	12	11
			実績		11	13	11	13
		達成率(%)	0.0	100.0	118.2	91.7	118.2	
指標の説明		年度に実施した文化財の補助事業の件数						
独自指標	文化財の新規指定件数	件	目標	2	2	2	2	1
			実績		1	2	1	2
		達成率(%)	0.0	50.0	100.0	50.0	200.0	
指標の説明		新たに文化財に指定された件数						
独自指標	体験学習実施件数	件	目標	4	5	5	5	0
			実績		5	5	5	0
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	
指標の説明		年度に実施した体験学習の件数						
独自指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		文化財に対する補助および新規指定を行うにあたっては、保存維持管理が重要視され、指定する際には慎重な審議が必要となり、件数が大きく増えるものではありません。現在の指定文化財を変わず保存していくための支援を引き続き行いながら、指定に値する未指定のものについて、掘り起こしを図っていきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 無形文化財保持団体の活動区切りが年度ではなく、年で活動していることから、団体では年度区切りの補助申請や実績報告を作成する必要があります。年度への変更は、区役員の任期等により難しい現状です。
これまでの見直しや改善等の実績	市内の指定・登録文化財を分かりやすく解説した冊子「坂井市の文化財」の改訂3版を発刊し、周知を図りました。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	文化財保存管理事業	継続	文化財の保存管理に必要な措置を講じていくとともに、市民への公開や活用を通して文化財保護意識の啓発を行います。
	日本遺産推進事業	継続	日本遺産に認定された構成文化財の保存管理に努めていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-1	シティーセールスの強化
	施策項目	(3) 地域の魅力をつなぎ、つくり、つたえるシティーセールスの推進				
実施事業名 (小事業)	文化財保存管理事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財の継承に対しては、地域の魅力を発信する効果を期待することから、各団体に対する市の支援は必要であると思われます。 ・継承に対する後継者問題は深刻であり、その課題を改善していくために、まずは無形民俗について知ってもらうことが基本にあり、そのための周知活動等を団体と連携しながら広めていくことが課題であると考えます。 ・日本遺産の認定を受け、今後、関係機関の協力を得ながら構成文化財の保存維持に努めていくことはもちろんですが、観光面での活用が課題となってくることから、庁内の関係部署と連携していくことも重要であると考えます。 					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大	事業	051	文化財保存事業	中	事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	8,939	7,366	3,973	1,573
	人件費	11,030	13,243	7,988	△ 2,213
	総事業費	19,969	20,609	11,961	△ 640
人 員	正職員	1.65 人	1.89 人	1.19 人	△ 0.24 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.65 人	1.89 人	1.19 人	△ 0.24 人
財 源 内 訳	国県支出金	1,045	1,200	1,000	△ 155
	その他特定財源	5,000	0	57	5,000
	一般財源	13,924	19,409	10,904	△ 5,485

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。

【事業の概要】

- 賃金 丸岡城・六呂瀬山古墳群発掘調査作業員賃金（延35名） 960千円
- 報償費 委員謝礼（7名） 122千円
- 需用費 128千円
- 消耗品費（整理作業用具） 123千円
- 食糧費（会議用お茶） 1千円
- 印刷製本費（写真現像焼付代） 4千円
- 委託料 1,226千円
- 試掘調査掘削委託料（22件） 1,223千円
- 廃材処分委託料 3千円
- 使用料及び賃借料 発掘調査機材借上料 180千円
- 工事請負費 六呂瀬山古墳群アクセス園路整備工事 6,323千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	件	目標	80	80	70	70	60
			実績		81	52	84	64
			達成率(%)	0.0	101.3	74.3	120.0	106.7
指標の説明								
指標	独自指標	件	目標	60	60	50	50	50
			実績		35	20	64	61
			達成率(%)	0.0	58.3	40.0	128.0	122.0
指標の説明								
指標	独自指標		目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	独自指標		目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		発掘件数については、新幹線に関連する調査や消費税増税に伴う住宅の駆け込み建築の影響に伴い、増える傾向にあると思われます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			文化庁からの指針や、県の方針等もあり、行政の専門技術者が行うのが妥当と考えます。現在、市内数ヶ所に分散して埋蔵文化財を保管していますが、年々増える一方であり、適切な保管状況とは言い難く、整理する必要があると考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	市内には埋蔵文化財包蔵地が多くあること、開発行為の際は届出等が必要になることをホームページ等で周知し、市内遺跡の調査成果を公開するなど市民に還元できるよう努めました。			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	埋蔵文化財発掘調査事業	継続	市内に分布する埋蔵文化財包蔵地に支障をきたさないよう、工事施工業者への周知に心がけるとともに、適切な指導・助言に努めていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	現在、市内数ヶ所に分散している埋蔵文化財について、今後、空き施設を活用して集約していくとともに、必要・不要の別も含めて整理する必要があると考えます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			
		継続	

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大	事業	051	文化財保存事業	中	事業	21	丸岡城関連施設管理運営事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	丸岡城条例、一筆啓上日本一短い手紙の館条例ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	7,635	9,984	10,057	△ 2,349
	人件費	7,821	4,344	3,826	3,477
	総事業費	15,456	14,328	13,883	1,128
人 員	正職員	1.17 人	0.62 人	0.57 人	0.55 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.17 人	0.62 人	0.57 人	0.55 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	200	0	△ 200
	一般財源	15,456	14,128	13,883	1,328

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
丸岡城関連施設を指定管理者に委託し、丸岡城関連施設の円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城観光の充実と、地域の文化振興を図る。	
【事業の概要】	
○役務費	91千円
丸岡城関連施設火災保険料	63千円
丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料	28千円
○委託料	6,171千円
丸岡城関連施設指定管理委託料（丸岡文化財団）	4,901千円
丸岡城周辺樹木剪定・伐採業務委託料	1,270千円
○使用料及び賃借料	1,373千円
丸岡城周辺土地借上料	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	丸岡城入場料収入	千円	目標	44,000	44,000	33,300	33,200	30,197
			実績		51,970	50,648	42,476	41,887
			達成率(%)	0.0	118.1	152.1	127.9	138.7
指標の説明								
指 標	丸岡城入場者数	人	目標	140,000	140,000	150,000	130,000	110,000
			実績		128,158	127,624	154,877	153,660
			達成率(%)	0.0	91.5	85.1	119.1	139.7
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	利用料収入は、丸岡城の観覧券で歴史民俗資料館と手紙の館に入館可能な3館共通券の販売を開始して以降、目標値を上回っています。今後も、丸岡城と手紙の館を活かした歴史文化事業を展開していくことで、観光面・文化面での賑わい創出を図れるよう支援していきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	入場者数は前年度とほぼ横ばいとなっています。今後、リピーターの確保やさらなる入場者増加が図られるよう関係機関と連携を図りながら、丸岡城周辺施設と一体化した観光PRを行うよう求めています。		
	丸岡城の入場料については、丸岡歴史民俗資料館及び一筆啓上日本一短い手紙の館への入場も可能な料金設定に見直し、観光客の城周辺の回遊と賑わい創出を図りました。また、一般財団法人坂井市公共施設等管理公社と公益財団法人丸岡文化財団が合併したことによりとの合併により、一筆啓上日本一短い手紙の館を含む丸岡城周辺の一体的な管理運営が可能となり、効率的な運営を図ることができました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	丸岡城関連施設管理運営事業	継続	市を代表する文化財「丸岡城」の保存管理を始め、周辺施設と連携したまちなか観光の推進に向けて、指定管理者である丸岡文化財団を核に取り組んでいきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費
大事業	01	丸岡城周辺整備基金			中事業	01	丸岡城周辺整備基金		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	内部管理事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		丸岡城周辺整備基金条例			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。

【事業の概要】
丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。
○積立金 19千円
城周辺整備基金積立金（預金利息）

平成29年度末 現在高 ①	平成30年度中増減額		平成30年度末 現在高①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
190,538千円	7,000千円	19千円	183,557千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト (単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	19	6,040	8,058	△ 6,021
	人件費	401	420	336	△ 19
	総事業費	420	6,460	8,394	△ 6,040
人員	正職員	0.06 人	0.06 人	0.05 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.06 人	0.06 人	0.05 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	19	40	58	△ 21
	一般財源	401	6,420	8,336	△ 6,019

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	千円	目標					
			実績		183,557	190,538	198,182	190,124
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価
基金の設置目的を踏まえた運用を図っていきます。

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性

※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください

方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
		丸岡城周辺整備基金	継続

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	基金の管理を行う事業のため評価しません。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					